マリー・ローランサン　愛と色彩のシンフォニー

問合せ　藤井達吉現代美術館　☎(48)6602

１月９日から企画展「マリー・ローランサン　愛と色彩のシンフォニー」を開催しています。マリー・ローランサンは、淡く美しい繊細な色彩による絵画を描き、今も世界中で愛され続けている女性画家です。彼女はブラックやピカソら前衛的な芸術家とも交遊し、1920年代には自己の様式と画家としての地位を確立しました。詩人アポリネールとの恋愛や第一次世界大戦勃発にともなう亡命生活などの波乱万丈の人生でも知られています。

△《三人の若い女》1953年ごろ
（マリー・ローランサン美術館蔵）

この展覧会では、改めて作品の造形性と向き合い、新しい作品世界を探求した画家としての軌跡に迫ります。

重厚で深遠な様式や構成、内容を尊ぶ旧来の西洋絵画の評価軸にとらわれることなく、甘美さや軽やかさ、かわいらしさを芸術にまで高めたローランサン。彼女の創作の輝きを、マリー・ローランサン美術館が所蔵する油彩画を中心に約70点紹介します。是非ご覧ください。

とき　３月６日㈰まで
※観覧時間は10時～18時で入場は17時30分までです。
休館日　月曜日
※１月11日㈪は開館し、１月12日㈫は休館です。
ところ　藤井達吉現代美術館
料金　一般　900円、高校・大学生　600円、小中学生　400円

●次の人は無料で閲覧できます。受付で証明書を提示してください。

未就学児童、市内在住・在学の小中学生・高校生、市内在住の65歳以上の人、各種障害者手帳を持つ人と付添者１人

医療費節約にご協力ください

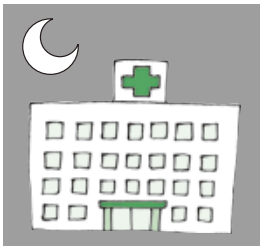
市国保では医療費が年々増加しています。今のまま増え続けると、医療費の財源である保険税の負担が大きくなります。日ごろから健康に注意し、次のポイントを守って医療費の節約に心がけましょう。

●かかりつけ医をもちましょう

自分や家族の健康状態を把握してくれているかかりつけ医がいると安心です。気になる症状があれば、まずはかかりつけ医に相談しましょう。必要に応じてほかの医療機関や専門医を紹介してくれます。

●時間外受診は控えましょう

休日や夜間に開いている救急医療機関は緊急性の高い患者さんのためのもので、医療費も高く設定されています。緊急時以外は平日の時間内に受診することを心がけましょう。

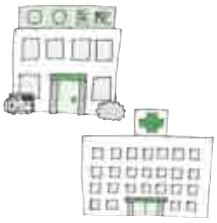


●定期的に健康診断を受けましょう

健康診断を受けることで、病気を重症化する前に早期に発見でき、医療費も安く抑えられます。

●病院のかけ持ちはやめましょう

同じ症状で、複数の医療機関にかかると、同じような検査や処置が行われ医療費が増加するばかりでなく、検査や薬の重複などで、体に悪影響を与えてしまいます。



●薬の適切な用量・用法を守りましょう

薬は飲み合わせによって、副作用の生じる恐れがあります。服用中の薬を医師や薬剤師に伝えるなどして、不要な薬をもらわないようにしましょう。

●ジェネリック医薬品を利用しましょう

特許期間を過ぎた新薬と同じ効能・効果を持つジェネリック医薬品なら、費用が安くなることがあります。医師または薬剤師に相談してみましょう。

問合せ　国保年金課国保係